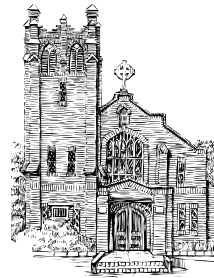
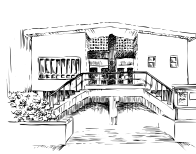


日本聖公会

大阪教区報



大阪聖パウロ教会

大阪聖アンデレ教会

旧大阪聖三一教会

主教座聖堂 川口基督教会

日本聖公会
大阪教区総務局

〒545-0053
大阪市阿倍野区
松崎町2-1-8

TEL 06-6621-2179
FAX 06-6621-3097

発行責任者
総務局長 司祭 内田 望

+++++ 第512号 2023年7月20日発行 +++++



大阪教区教区成立100周年記念礼拝説教

私たちの力の源—主イエス

主教 アンデレ 磯 晴久

2023年6月11日(日)
午前10時30分からプール学院メアリーズホールにて大阪教区教区成立100周年記念礼拝が開催された。磯晴久大阪教区主教の説教は以下の通り。

大阪教区成立100周年記念感謝礼拝を、皆様と共に守ることができ、恵みを神様に感謝致します。そして、金 珉先生はじめ大韓聖公会男性合唱団の皆様、張主教様はじめ台湾聖公会訪問団の皆様(キャサリン宣教師はCMSの代表でもあります)、聖公会関係学校・病院、関係諸施設の皆様、ご来賓の皆様、ようこそお集まり下さいました、心より歓迎申し上げます。皆様と共に100周年記念感謝礼拝を守ることができ、恵みを神様に感謝致します。

日のメアリーズホールは、とてもカラフルな共同体となっています。台湾からの兄弟姉妹、私たちの

教役者団、ウイルソン司祭はカナダ出身、ヒュウム執事はスコットランド、柳司祭、韓司祭、金司祭は韓国出身、とてもカラフルな礼拝となっています。これは神さまからの恵みであります。皆主イエスにある兄弟姉妹、グッドパートナーです。仲間であります。そして来賓の皆様も、大阪教区の大切なパートナー、仲間です。

こうして、多方面から多種多様な人々が、みんなで集まることができ、恵みを、神さまに感謝申し上げます。ゴーギャンという画家の絵に、「人はどこから来て、今どうあつて、これからどこへ行くのか」という有名な絵画がございます。

大阪教区は100年前に1923年に東京教区と共に教区となったのですが、今「大阪教区はどこから来て、今どうあつて、これからどこへ行くのか」と絵のタイトルと同じことを、問われているのではないのでしょうか。2023年1年間を記念の年として、皆様と今までの歩みを分かち合い、今を見極め、これからの歩みを明らかにしていきたいと願っています。

(次頁に続く)

(前頁より続く)

の朗読を久しぶりに聴き、その意味が明らかになったからでしょうか。

私たちはこの3年新型コロナウイルスの下、礼拝を守ることができなかつたり、聖歌を歌うことができなかったり、今まで経験したことがないような制約を受けて歩んできました。徐々に制約が緩やかになる中、ある教会で聖歌を久しぶりに歌うことが出来た時、目を熱くされた方がおられました。聖歌を歌うことができ、感動し、とてもうれしかった、とのことでした。

ネヘミヤとエズラは泣いている人々に言いました。「今日は、あなたたちの神、主にささげられた聖なる日だ。嘆いたり、泣いたりしてはならない。」(ネヘミヤ8:9)「行って良い肉を食べ、甘い飲み物を飲みなさい。その備えのない者には、それを分けてあげなさい。今日は、我らの主にささげられた聖なる日だ。悲しんではならない。主を喜び祝うことこそ、あなたたちの力の源である。」(ネヘミヤ8:10)

ここですべての祝祭の理由が明らかになりました。神さ

まが民に恵みを示されるので、民はその恵みを祝うと共に、何も持たない人々に思いを寄せなければなりません。

私たちの力の源は、主の到来を喜ぶことにあります。礼拝は、主が私たちの所にきて、私たちと共にいてくださり、そして私たちに慈しみを示してくださいという喜びを表現する時であり、困難の中にある隣人に思いを寄せる時です。今日の福音でも、主イエスご自身が語っておられます。

「わたしが来たのは、羊が命を受けるため、しかも豊かに良い羊飼いです。良い羊飼いは羊のために命を捨てます。」(ヨハネ10:10・11)あの1匹と99匹の羊のたとえのように、迷子になった一匹のために九十九匹をおいてでも探し求めて下さる主イエス、そして一匹のために命を投げ出してくださる大きな愛をもって、主イエスは私たちの所にきて下さいました。私たちに命を与えるためです。主が私たちのもとに来てくださった、主イエスこそが私たちの力の源であります。

私たちがネヘミヤ記を読む

時、神さまは私たちに試練をお与えになることはあっても、逃れの道も備えてくださり、決して見捨てられることはないという信頼へと導かれます。私たちが取り巻く環境は厳しく、時に危機的ですがあります。主イエスは私たちの信仰を何度でも強めてください。

そして私たちの使命は、私たちのところに来て下さった主イエスを、人々に指し示すことにあります。

以前、桃山学院中高の近くの桃ヶ池公園を散歩していました。近くの幼稚園か保育園の子どもたちもお散歩中でした。子どもたちが、「あつ、アヒルさんだ」と池の方を指さしたので、アヒルではなく、実はカモで、かわいい子ガモ数匹を連れて、水の上をすべるように泳いでいたのです。あの子どもたちの指差しがなかったら、私はきっとあのカモのかわいい一家を見逃していたでしょう。

聖書は、主イエスを指差ししています。キリスト教神学、教会の礼拝、教会の活動、私たちの証しも主イエスを指差ししています。指差ししてくれる人

がいて、私たちは、主イエスに顔を向ける事ができるので。これから、125年・150年に向かっての新しい旅が始まります。私たちが取り巻く環境は厳しいものがあります。そのような時、どうしたらいいの

か。祈り合って、手をつなぎ、力を合わせることで。「協働」がカギとなる言葉です。そして、主イエスを指し示しつつ、世界に主イエスを紹介しつつ歩み出しましょう。(大阪教区主教)

100周年の恵みの時を無事迎えたことを祝い、今年一年お祈りをいたしましょう。

日本聖公会大阪教区教区成立100周年の祈り

信頼と一致、真理の源である神よ、あなたはわたしたちをみ子の十字架と復活、そして聖霊の降臨によって遣わされた使徒たちからの唯一の聖なる公会に召し、あなたに仕えさせてくださいました。どうか教区成立100周年を迎える日本聖公会大阪教区と大阪教区に連なるすべての人たちに聖霊を注いでください。この100年の感謝を分かち合い、主を喜びとし、主のみ言葉に聴き、主の福音を分かち合う器として、ますます謙遜な心で歩み続けることができますように、わたしたちを豊かに用いてください。み子イエス・キリストによってお願いいたします アーメン

【記念聖句 ネヘミヤ記8:10】

主を喜び祝うことこそ、あなたたちの力の源である

大阪教区教区成立100周年記念礼拝

―主を喜び祝うことこそ、あなたたちの力の源である―

司祭 フランチェスコ 成岡 宏晃



「1869年、長らく続いていた日本のキリスト教禁教令の高札が撤去される4年前、C.M.ウイリアムス主教は長崎から大阪に居を移し、精力的に伝道活動に勤しまれた。1887年に第1回総会によって日本聖公会組織成立。そして100年前、1923年第14回総会で東京、大阪両教区の設置が決議された。海外より来られた何人も宣教

師たちは、どのような思いで故郷を立ち、いくつもの海を越えてこの地へとやってこられたのだろうか。一人でも多くの人に主の福音を宣べ伝えるために、一人でも多くのひとともに主を賛美する礼拝をささげるために。どのような苦難・困難の中にあっても主の道を見失わないようにと、熱心で忍耐強く単純素朴な主への信頼がそこにはあったことを信じずにはいられない。

100周年、教区は厳しい苦難の状況の時、変革の時、新たな出発の時を迎えている。このような時であるからこそ、主にある信仰に固く立ち、いつでも与えられていく喜びに目を注ぎ、絶えず祈る事によって主のみ声を聴き、すべてのことに感謝の思いで応え続けていく。」

ル学院メアリーズホールにてささげられた大阪教区成立100周年記念礼拝のセレモニーで朗読されたメッセージの一部である。

100年の歴史を振り返りつつ、今の大阪教区に与えられている実りを分かち合い、また向き合うべき課題は何かを丁寧についでいくことが、最も重要な記念礼拝の備えであった。

動画を視聴しながら歴史と歩みを振り返った後に、各教会や団体のバナー、そして教区旗が壇上にささげられた。バナーに先立って「大阪教区の子どもたち」がキッズフェスティバルで作成した旗とともに入場してきた姿は、大阪教区の希望そのものであった。

さらに、「さまざまの違いを持つ教役者によってカラフルに彩られている大阪教区（磯崎久主教の説教より）」に加えて、張員榮主教をはじめ台湾聖公会訪問団のみなさん、韓国男性合唱団のみなさん、主の呼びかけに応え、主につながってともに祈りをささげられたことは、これ以上ない喜びであった。出席者約550名はさまざまな「違い」を持つ一人ひとりである。私たち一人ひとりの「違い」を「喜び」として分かち合える、神の国の到来を祈り求めることがわたしたちに課せられている使命（ミッション）であることを再認識した。

祈りのうちにささげられた信施、554,330円はトルコ・シリア地震の支援、NPO法人メタノイアの活動、100周年記念事業のために用いられる。また、武藤謙一首座主教をはじめ多くの来賓の方々とともに喜びを分かち合えたこと、何より大阪教区に連なる一人ひとりの祈りと愛と慈しみに満ちたご奉仕によって礼拝が執り行われたことについて、神の臨在を感じる大きな「喜び」であった。

さて、大阪教区成立100周年の次の一步はどのように踏み出されるのだろうか。間近に迫っている「主教選挙」や教会間の「協働」など、とかく教会や教区の体制について思いを巡らせる機会が多い。しかし、教区としてさらなる歩みを進めていくためには、宣教師が命を懸けて福音を宣べ伝えようとした志を丁寧に想起することが何よりも重要である。

「教会という組織を維持させるために」ではなく、「わたしたちの身近なところにおられる、さまざまな苦勞を抱えておられる方とともに生きるために教会がどうあるべきか」、謙遜な気持ちでみ言葉に聴き、新たな一步を祈りの中に歩みだしていく。100周年記念礼拝がその礎となることを心から願っている。

（式典長・プール学院中高
チャプレン・大阪城南
キリスト教会牧師）



台湾聖公会・大韓聖公会ソウル教区

男性合唱団歓迎レセプション

於…大阪城南キリスト教会にて

6月11日(日) 17時30分からは大阪城南キリスト教会を会場にレセプションが行われました。台湾聖公会から24人、ソウル教区男性合唱団の皆さん25人の歓迎の時を待ちました。大阪城南キリスト教会のご厚意で、皆さん集まってお会食ができ、出来立てのおいしいお食事をいただくことが出来ました。

また会の中で、台湾・韓国の方々を歓迎する大阪教区への歓迎ビデオ上映や、それぞれの参加者からの歌の披露などがあり、久しぶりに大変賑やかで、楽しい会となりました。

また初めに、台湾聖公会張員栄主教様から2メートル



台湾聖公会より贈呈されたお祝いの掛け軸



沢山の方々が集まり、楽しく会食を致しました

ル近い立派な書が贈られました。書かれている文字は、「主思満溢」。この言葉の意味は主の思いと栄光が満ち溢れますようにという意味です。大阪教区のこれからがますます神様の思いによって進められることを願って送ってくださいました事と思います。

今回のレセプションに与えられた良き交わりによって、これからも、大阪教区がますます神様の思いに満ち、また世界の聖公会といよいよ繋がる未来を感じさせるレセプションのひとつでありました。

韓国男性合唱団コンサートに感謝!

司祭 ステパノ 柳時京

「聖歌は、私たちが祈り、心を尽くして神様にささげる信仰の現しです。あたたかい心と祈りで準備したこのコンサートが、ご一緒された皆様の心に注ぐ神様の恵みとなりますように祈っています。」

6月11日午後、コンサート

の開演に先立ち、ソウル教区男性合唱団団長の挨拶の一部です。この挨拶とともにコンサート

の幕が上がりました。公演が始まり、メアリーズホールに合唱の歌声が響いた時、9日金曜日の午後に関西



男性合唱団と台湾聖公会の皆様

空港で合唱団一行を迎えて、練習過程を見守った私としては胸をなでおろした瞬間でした。なぜなら、到着翌日に川口基督教会を訪ねて日本での最初の発声と練習をした時の、どこかもの足りない歌声を聞きながら感じた不安な気持ちを感じ出したからです。

私自身中学生の頃から聖歌隊を始め、かつて合唱団のメンバーとして参加したことがあります。それゆえに、聖歌隊や合唱団の場合、楽器である身体をどのように管理するかによって、そして発声を通じて音を合わせてハーモニーを作り出すまでのプロセスがどれほど重要かを身をもって経験していたからです。

実際、今回の男性合唱団は、前日リハーサルを終えた後、夕食の時に指揮者が一切禁酒を指示し、宿舎に帰っても部屋ごとに確認のため訪問したと聞きました。記念礼拝やコンサートのための来日ですが、同時にコロナ期間中に行き詰まっていた海外旅行の気



ゲスト出演した教区聖歌隊

分もあつたはずなのに、全員が体と喉をきちんと管理してくれたことに敬意を表します。礼拝中のアンセムを通して神様に賛美と誉れを献げ、コンサートを通じては素晴らしいハーモニーで大阪教区の皆様に喜びを分かち合ってくれた男性合唱団!大阪公演のために特別に選んだ韓国創作曲の歌詞をもう一度覚えておきたいと思えます。「主の心に倣い 隣人を愛する教会 主の栄光のため 光の主を伝える教会 愛の花火が大きく開き 日々愛にみちる教会 主を愛する私たちの教会がこのような教会になりますように」。

青年たちの集い

なかだ いずみ
中田 泉

6月11日(日)にプール学院にて大阪教区成立100周年記念感謝礼拝が行われました。私はキッズプログラムのお手伝いと礼拝中の子供たちのサポート係として参加しました。私は京都教区に所属しているため、大阪教区の歴史に触れる機会がこれまであまりありませんでした。そのため今回記念礼拝に参加する機会が与えられ、聖公会の歴史を学ぶことができたことを嬉しく思います。

式典後、大阪聖愛教会に10代、20代を中心とした青年たちが集まり親睦を深めました。集まった人の多くがJ'sキャンプの卒業生であるため、自然とJ'sキャンプの話題になりました。私も沖縄や熊本・長崎、小笠原でのキャンプで普通の旅行では経験することのない貴重な体験ができ、沢山の思い出があります。それ以上に他の子たちがキャンプでの出来事のこと細かく鮮明に記憶していることにとっても驚きました。小学校

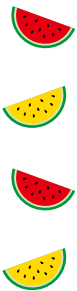


聖公会の貴重な青年たち。楽しい食事会！

から高校まで春と夏に積み重ねられたキャンプの一コマコマが、多くの人の心の中に息づいていることに気づきました。学校ではない場所での出会いと体験、そしてそれを語る仲間と場があることは私たちの強みであると思います。

コロナ後、再開されたJ'sキャンプが二度と途絶えることなく、再び盛況を取り戻せることを願っています。

(大津聖マリア教会)



2023「原発のない世界を求めると」

2023「原発のない世界を求めると」の祈りを求める週間「いのちをみつめる祈りの集い」原発のない世界を求めて「祈りのリレー」オンライン講演会「動かすな！六ヶ所再処理工場」核のゴミはどうすれば？」が行われました。

6月4日、「地球環境のために祈る日」に「原発のない

世界を求めると」の祈りを主日礼拝で祈りました。その後の週は「いのちをみつめる祈りの集い」と題して祈りのリレーとオンライン講演会が開催されました。

この企画は、日本聖公会正義と平和委員会憲法プロジェクトが本年開始した「いのちをみつめる祈りの集い」と「原

公 示

救主降生 2023年7月15日
日本聖公会大阪教区主教
主教 アンデレ 磯 晴久

神のお許しがあれば、下記のとおり聖職按手式を執行し、

執 事 ヒューム ウィリアム ユーワン

を公会の司祭に叙任いたします。

主にある諸教会、皆さまの代祷をお願いいたします。またご臨席いただければ幸甚に存じます。

記

- ◇日 時 救主降生 2023年9月23日(秋期聖職按手節 土・休)
午前 11時 00分
- ◇式 場 堺聖テモテ教会
〒592-8349 堺市西区浜寺諏訪森町東1-65 電話 072-261-2015
- ◇司式者 主教 アンデレ 磯 晴久
- ◇説教者 主教 ヨハネ 吉田 雅人(前東北教区主教)
- ◇式典長 司祭 フランチェスコ 成 岡 宏

※祭色は「赤」を用います。
※式場は、主教座聖堂(川口基督教会)ではありません。

以上

大阪教区教役者、信徒の皆様へ 大阪教区合同埋葬式のご案内

日時：2023年11月4日(土)14時より
場所：大阪霊園
(大東市龍間331 TEL 0120-69-1117)
申請締切り：9月末
お問い合わせは大阪教区事務所 太田まで

日本聖公会大阪教区100周年 信徒のための夏の黙想会 —じぶんを振り返る—

日時：2023年8月11日(金・休)
午後1時30分～5時30分
会場：大阪聖アンデレ教会
Tel：06-6628-4757
講話：司祭 ヤコブ義平雅夫

発問問題プロジェクト」がコラボレーションしたものです。両プロジェクトの精神は「いのち」がキーワード、何よりもいのちが第一、いのちの尊厳を脅かす事に対しては「否」を言い続けるということにあります。詳しくは管区ホームページ等でご覧頂けたらと思います。

(原発問題プロジェクト
小林 聡)

大阪教区関係教役者 8月逝去者記念聖餐式

8月9日(水) 10:30~

- *説教者：司祭 ペテロ ^{かなやま}金山 ^{まさし}将司
- 5日 主教 エドワード・ピカステス (1850~1897英)
 - 8日 主教 ヘンリー・セントジョージ・タッカー (1959米)
 - 9日 宣教師 アグネス・S・ウィリアムス (1970英)
 - 10日 司祭 ヨハネ ^{さくらい}桜井 ^{なおじろう}猶次郎 (1945)
 - 主教 ペテロ ^{ふじもと}藤本 ^{じゅさく}寿作 (1969)
 - 11日 宣教師 シルビア・ルイス・ケンドール・ブッシュ (1966英)
 - 18日 司祭 関 翔 (1953)
 - 24日 宣教師 キャサリン・アリス・サルヴァイン・トリストラム (1948英)
 - 30日 伝道師 ルツ ^{なかむら}中村 ^{みつお}光尾 (1978)

*教役者逝去記念聖餐式は、毎月第2水曜日午前10時30分から、川口基督教会で行われます。ご関係の有無にかかわらず、どうぞ自由にご参加ください。

【常置委員】報告 6/6 第10回(定例)

I. 主教報告及び諸報告

・教区100周年記念礼拝に關し、最終確認を行った。

・5月末に、林正樹司祭は聖ヨハネ教会牧師館から自宅に転居された。

・秋の宣教協議会に關し、6月11日以降に大阪教区参加者の集まりを予定している。

・局長会議を6月22日(木)に開催予定。

・管区ハラスメント研修会(全.....)

教役者対象)が7月に3回開催される。また「セーフチャーチ・ガイドライン」読み合わせを、7月18日(火)に行う。

II. 協議事項と主教諮問

*ヒューム ユーワン執事の司祭按手式を9月23日(土・休)に堺聖テモテ教会で執行を行うことを了承。

*教区の今後について、説明会の日程などを協議した。

*教区事務所職員・水畑裕美さんが6月12日付で退職されることに伴い、手続きな.....

どの対応を確認し承した。今後の事務所体制について検討を始める。

*神学生の夏季実習について協議した。

*その他、主教人事案を確認した。

洗礼

大阪城南キリスト教会

(5月28日)
フランシス 山下 太郎

初 陪 餐

大阪城南キリスト教会

(5月28日)
フランシス 山下 太郎

堅 信

大阪城南キリスト教会

(5月28日)
フランシス 山下 太郎

逝 去 者

川口基督教会

リベカ 新谷 千里
(5月30日・92歳)

マリヤ 富 典子
(6月13日・82歳)

石橋聖トマス教会
ペテロ 大賀 健二
(6月16日・89歳)

ダビデ 石黒 城児
(6月20日・70歳)

魂の平安をお祈りします

主教巡回予定

(8月)

6日 尼崎聖ステパノ教会

13日 大阪聖愛教会

20日 川口基督教会

27日 守口聖オーガスティン 教会

(9月)

3日 恵我之荘聖マタイ教会

10日 聖贖主教会

17日 恵我之荘聖マタイ教会

24日 堺聖テモテ教会

お詫びと訂正

○51号掲載伝道教区制度についての訂正

大阪教区報第51号に掲載された「解説・宣教協議区・伝道教区とは?」⑧の記事に間違いがありましたので、訂正してお詫びいたします。

A案の説明で、「2029年を目指して、中日本宣教協働区の他教区と合併または新教区設立に向かう」とあるのは、正しくは「2029年を目指して、他教区と合併また

は新教区設立に向かう」です。また、A案、A-2案で、「磯主教は約9カ月間の任期を残して退任となり」とありますが、これは2024年6月の管区総会承認と同時に伝道教区移行が行われた場合を指しており、伝道教区移行の時期を2025年4月以降と決議すれば、A案、A-2案ともに主教は任期満了で定年となられます。

説明に不備があり、混乱を起こしてしまつたことをお詫びいたします。伝道教区移行の日程案については常置委員会で再検討し、改めて提示したいと思ひます。(常置委員会)

次号8月号お休みのお知らせ

いつも教区報をお支えいただきありがとうございます。次号8月号はお休みになります。次に皆様のもとへと教区報が届きますのは9月24日になりますのでご了承ください。 広報委員長

神学生を囲む集い

日時：2023年8月20日(日) 午後3時~5時 会場：川口基督教会